

○地域協議会での意見及び対応（反映）状況（R元年度の取り組み）

協議会開催日	委員属性	委員からの意見	対応（反映）状況
H27.5.15	医師会	市民への健康・医療に関する啓もう活動活動の協力をお願いしたい。	令和元年11月に南区民まつりと同時開催した名古屋市南区地域包括ケア推進会議主催の「みなみシニア大集合」のイベントに「調べよう！肺年齢、腸年齢」～がんにならない、がんに負けないからだづくり～をテーマにした当院のブースを笠寺病院と協働し出展した。 120名程の地域住民の方が当ブースで、健康チェックの体験をした。
H27.5.15	医師会	市民への健康・医療に関する啓もう活動活動の協力をお願いしたい。	令和元年6月より地域医療連携・相談室と広報委員会が企画し、毎週1回中央ホールにてミニ健康講座を開催した。様々な部門や医療チーム、委員会より健康に関する身近なテーマを分かりやすく患者さんやご家族を中心に地域住民へ伝えた。累計912名の方が聴講した。
H28.5.20	医師会	医療連携は病診連携だけでなく、病病連携も非常に重要になってくるため協力をお願いしたい。	地域医療構想において、名古屋・尾張中部医療圏での自主的な協議の場である名古屋南部地域医療連携推進協議会の事務局として、名古屋南東部で新型コロナウイルスの感染拡大が言われていた3月11日に「新型コロナウイルスコンセンサスミーティング」を開催し、10施設等34名が参加し情報共有を行った。また、このミーティングで出た意見等をまとめ同協議会所属施設代表として名古屋市長へ「新型コロナウイルス対策に関する要望書」を提出した。
H28.11.18	行政	地域包括ケアについて協力をお願いしたい。	愛知県の「人生の最終段階における医療体制整備事業」に係る地域拠点の公募に申込をし、愛知県と国立長寿医療研究センターと共催で研修事業に取り組んだ。人生の最終段階における本人の希望についての意思決定支援を行う相談員を養成するため、相談対応力向上研修会とフォローアップ研修会を開催、延べ170名程が受講した。エリアリーダー養成の拠点として地域全体と連携し、幅広く受講機会を提供した。来年度もフォローアップ研修会を予定している。また、循環器内科においてACPを取り入れた心不全地域連携バスを地域連携会で考案中である。
H30.11.19	関係医療機関	病診連携を推進して欲しい。	病院集談会において、「患者さんや地域の医療機関から 選んでもらえる病院であるために～ある日の地域医療連携・相談室の出来事～」をテーマに、各科の返書率の報告や開業医訪問を84施設回った結果の報告、連携医や連携施設とのトラブルなどを報告し、病診連携・病病連携の在り方について院内の啓蒙活動をした。
R元.11.15	医師会	医療介護分野での地域包括ケアをしっかりと良いものを作りたいため、協力をお願いしたい。	老健施設・特別養護老人ホーム・有料老人ホーム等施設を対象とした連携会を年1回開催している。今年度は、高齢者の摂食嚥下障害に関する病院と施設間連携についてをテーマに、急性期の誤嚥性肺炎クリニカルパスについて情報提供し、退院後の施設でのケアや病院との連携の在り方等について、活発な意見交換をした。13施設46名の参加であった。